



## サントリー“君は未知数”基金

### 2026 公募要項

公募締切：2026年3月5日（木）正午

#### 目次

1. 趣旨	2
2. サントリーワークスエンパワメント活動「君は未知数」について	2
3. 助成内容	4
4. 選考について	7
5. 申請について	9
6. お問い合わせ先	11
7. 個人情報の取り扱いについて	12

## 1. 趣旨

すべての子どもたちには、それぞれに豊かな個性があり、その可能性は未知数です。子どもたちは本来、世界にワクワクする力や新たな世界を切り開く能動性を持ち合わせています。

「サントリー“君は未知数”基金」は、子どもから大人へ移行する時期である思春期世代が、自らの生まれ持った固有の可能性に、自然や他者とのつながりの中で気づき、その可能性や、豊かなつながりを育んでいくための機会や環境を地域や社会に広めていくことを目指した取り組みです。

思春期は、子ども・若者の成長にとって大切な時期であると同時に、様々な葛藤やゆらぎが起きる複雑な時期もあります。

この思春期世代に必要なことは何でしょうか。例えば、安心して過ごせる場所や余白の時間、やりたいことに挑戦できる機会かもしれません。あるいは、豊かな自然や文化、芸術、普段の生活では出会えない人々や地域の魅力と出会うことで、世界を広げることかもしれません。日々の暮らしで良いことばかりではなくても、自分を認め、失敗に寛容で共にいてくれる他者がいることで「ひとりじゃない」「なんとかなる」と感じられ、それが一步を踏み出すきっかけになるかもしれません。

しかし、様々な理由から、そうした機会を十分に得られない思春期世代もいます。

「サントリー“君は未知数”基金」は、そうした思春期世代に向き合い、地域の多様な関係者と連携・協力しながら取り組む民間の非営利団体（NPO等）が、事業や組織の運営基盤を強化し、さらなる成長と発展を遂げるための活動を応援します。

本基金により、すべての思春期世代が生まれ育つ環境や状態に関わらず、自らの生まれ持った固有の可能性を拓げる機会や環境が地域・社会に広がり、豊かになっていくことを目指します。

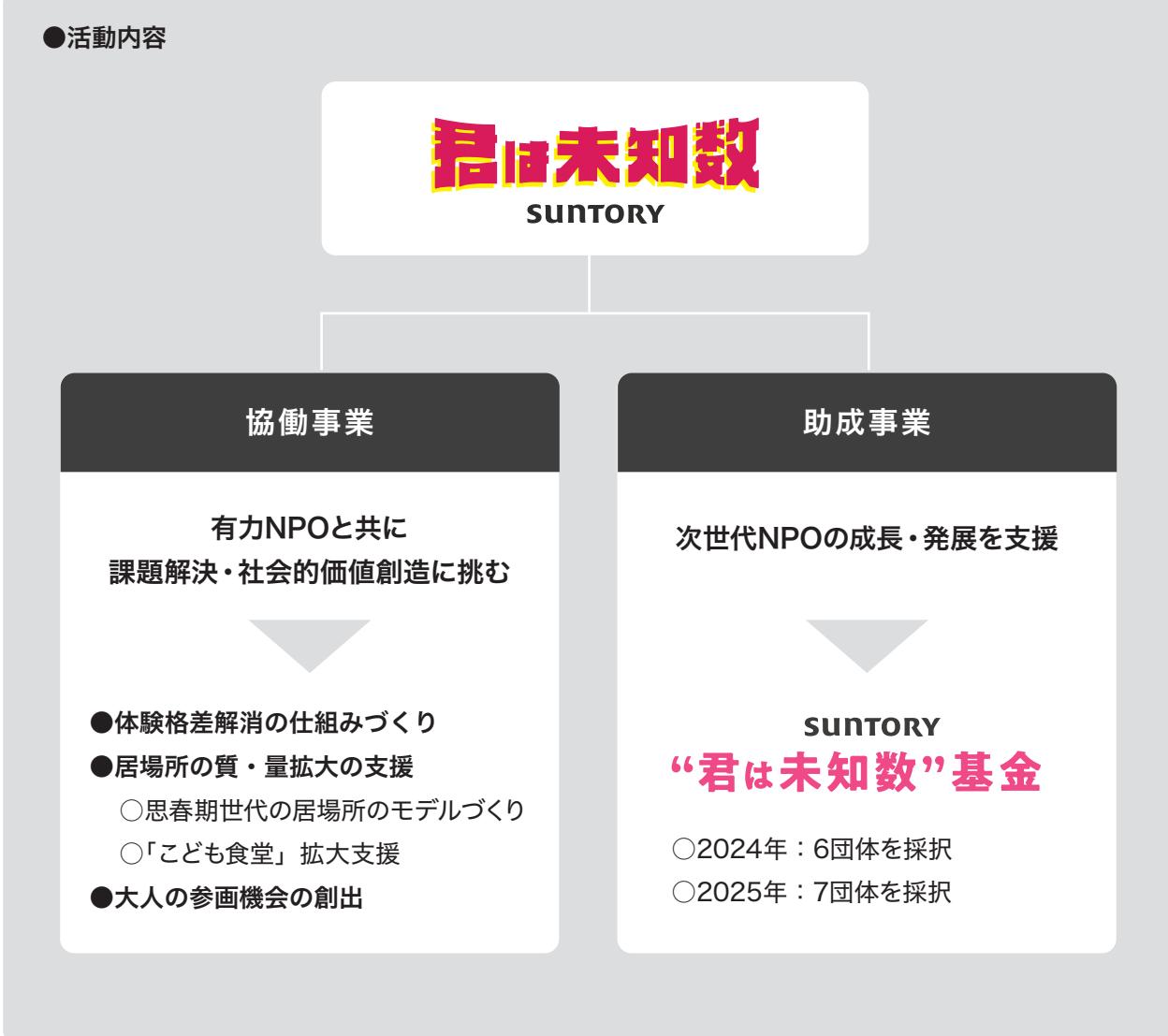
## 2. サントリースターフィールド活動「君は未知数」について



子どもたちの可能性は未知数。生まれ育つ環境や状態にかかわらず、  
その可能性を全ての子どもたちがひらくことができる社会を実現する。  
それが私たちの想いです。思春期世代を主な対象として、この分野で  
先駆的・継続的に取り組んできたNPOなどと協働しながら、子どもたちが  
未知や他者と出会う機会をつくります。

サントリースターリング活動「君は未知数」の柱は、  
NPOとの「協働事業」とNPOへの「助成事業」です。

●活動内容



今回公募する「サントリー“君は未知数”基金」では、本基金の他の採択団体や「協働事業」における協働団体との交流の機会や連携の可能性もあります。

こうした取組みを通じて、社会変革をリードするモデルや事例を創出するとともに、その成果を広く社会に展開します。

### 3. 助成内容

#### 3.1. 助成対象団体

- 思春期世代が、自らの生まれ持った固有の可能性に自然や他者とのつながりの中で気づき、その可能性や、豊かなつながりを育んでいくための機会や環境を地域や社会に広めていく事業や活動に取り組む団体  
※本基金では、思春期世代を10代から20代半ばの子ども・若者としています。
- 法人格を持つ民間非営利団体（特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、社会福祉法人等）  
※一般財団法人および一般社団法人は、非営利型のみを対象とします。
- 年間予算規模：1,000万円以上3億円以下  
※団体の基幹となる事業が確立し、一定の活動実績がある上で次のステージへの成長・発展を目指す段階にある団体を助成対象として想定しています。  
※前年度の予算規模が1,000万円未満の団体が申請する場合は、本年度の事業規模が1,000万円を上回ることを申請書類内でご説明ください。
- 有給職員（フルタイム）：1名以上
- 主たる事務所が日本国内にある団体
- 次の事項に同意できること
  - 訪問や取材へのご協力。
  - 年次報告書やウェブサイト等の情報発信ツールで、「サントリー“君は未知数”基金」が助成した旨及び口の表示。
  - 助成期間後も含めた事業評価や調査（思春期世代や関係者へのアンケート、ヒアリング等）へのご協力（詳細は採択団体と協議）。

本基金の対象団体として、例えば、思春期世代や地域・社会が以下のような状態になることを目指す団体を想定しています。

- 思春期世代
  - ・「好き」や「夢中」、「やってみたい」に出会い、主体的に選択が出来ている。
  - ・一人ひとりに固有の「自分らしさ」を受け入れ、周囲からも認められている。
  - ・理解し応援してくれる、他者やコミュニティとのつながりがある。
  - ・時に悲しいことやつらいことがあっても、「大丈夫、なんとかなる」と自分と社会を信じられる。

- 地域・社会
  - ・思春期世代を権利主体として尊重し、他者との関わりの中での学びのプロセスや、それを通した自己決定を支える価値観や取り組みが広がっている。

#### ●対象となる団体の事業・活動の例

- 思春期世代が「居たい」「行きたい」と思える場、ユースセンターや居場所の設置と運営。
- 興味に応じて主体的に参画できる交流や体験（自然、文化、スポーツ、職業等）や権利主体としての力を育む取り組みの提供。

- アート、音楽、身体活動などを通した、言葉以外の自己表現を支える取り組み。
- 居場所外の活動も含めた思春期世代一人ひとりのニーズに対応したユースワーカーによる個別の関わり。
- 学校や行政、企業、市民など、地域の多様な関係者がこうした取り組みの必要性や意義を共有し、地域・社会レベルでの参画と実践を広げるための活動。

※対象外となる団体の事業・活動：

本基金では、自然や他者とのつながりの中から生まれる気づきや、長期的な視野のもとでの関わりを重視しています。そのため、以下の取り組みは対象外です。

1. オンラインのみで完結する事業
2. イベントや体験活動の実施等の短期間の活動にとどまる事業

ただし、主たる事業が自然や他者とのつながりや、長期的な関わりをもたらしている場合、その目的を補完する手段としてオンラインや短期的な活動を事業の一部に組み込むことは差し支えありません。

### 3.2. 助成対象となる事業・活動

事業・活動を発展させるためには、既存の活動の運営資金に加え、成長・発展のための投資が必要です。今回は、こうした成長・発展のための取り組みを対象とします。

事業・活動の成長・発展に向けて必要なアプローチは、団体の状況により異なり、多様です。一例として、以下に対象となる取り組みの例を記載します。複数の取り組みを組み合わせて実施する形でも構いません。

#### 【例】

- 居場所やプログラムの質や量を高めるための取り組み
  - ・新たな価値を生み出し得る実験的な取り組み
  - ・評価、調査および現場実装
  - ・地域の多様な関係者との連携による支援の拡大
- 団体の組織や事業の基盤強化
  - ・採用・人材育成・体制の強化
  - ・事業・活動や社会課題の認知向上に向けた取り組み

### **3.3. 助成金の使途**

●対象となる経費は、申請事業の実施に必要な費用全般です。

○費目の制限や、割合の制限はありません。

○人件費、謝金、業務委託費も助成の対象です。

※物資や機材、不動産の購入が主目的の事業や、単に既存の活動を継続するだけの事業は本基金の趣旨と異なるため対象外です。ただし、成長・発展を目指すために必要なものであれば、物資や設備の購入、活動経費の支出も対象となります。

### **3.4. 助成期間・金額**

●助成期間：2026年7月から2028年6月の2年間

●1団体あたりの助成金額：最大1,000万円（申請金額の下限：500万円）

●採択団体数：5～6団体（予定）

●助成金の支払い：助成契約を締結した上で、助成金は1年毎に提供されます。

### **3.5. 助成開始後の報告と事業計画の見直しについて**

#### **●報告について**

○月次報告：所定のフォーマットによる活動進捗の提出。

○事務局との面談：原則として4か月に1回の事務局との面談。

○進捗共有会：助成期間中に計3回、採択団体が一堂に会する場での活動進捗の共有。

（第1回は2026年7月21日（火）に開催。）

#### **●事業計画の見直しについて**

○報告時に、事業や予算の進捗を踏まえて、事務局からの提案により、事業計画や予算の修正協議を実施する場合があります。

## 4. 選考について

### 4.1. 選考基準

本助成は、既存の活動の運営資金ではなく、より多くの思春期世代に必要な機会を届けていくための団体の成長・発展を応援するためのものです。選考は以下の7つの基準に基づいて行います。

事業・活動の内容とその推進・実行に関する項目	
1. 事業・活動内容	思春期世代をとりまく課題やニーズを踏まえ、思春期世代が自らの生まれ持った固有の可能性に自然や他者とのつながりの中で気づき、その可能性や、豊かなつながりを育んでいくための機会や環境を地域や社会に広めていく事業や活動であること。（「助成対象団体」、「助成対象となる事業・活動」の項を参照）
2. 推進力・実行力	豊富な活動実績や経験を有し、現状に安住せずに事業や活動の改善に努めていること。また現場スタッフが力を発揮できる組織づくりに取り組みながら事業を推進していること。
3. 協働・連携	地域のリソースや、他の組織（学校や行政、地域社会、企業、他の非営利組織等）と適切な関係を構築し、必要に応じて協働・連携していること。
4. 多様なニーズの包摂	経済的な状況や心身の状況等により、機会へのアクセスが困難な思春期世代に対して、その意見やニーズを反映しながら、取り組みの内容や性質に応じた合理的な配慮をしていること。
成長・発展に向けた計画・構想と助成金の活用に関する項目	
5. 成長・発展に向けた計画・構想	団体が成長・発展する上で解決すべき課題を客観的・構造的に把握した上で、目指すべき状態を設定し、より多くの思春期世代へ必要な機会を広げていくための計画と、意欲的な構想を描いていること。
6. 助成金の活用	上記5.で把握した課題に対して効果的に成果を実現するための助成金の使途が設定されていること。また、助成終了後の財務的な持続性の確保に向けた一定の見通しがあること。
リーダーシップと組織体制に関する項目	
7. リーダーシップと組織体制	目的の実現に向けたリーダーシップと諦めない行動力があること。また必要な組織体制の構築に努めていること。

## 4.2. 選考方法・スケジュール

有識者からなる選考委員会が選考を行います。

選考は、書類選考による一次選考と、面談による二次選考の二段階です。

公募開始	2026年1月20日（火）
説明会	2026年2月10日（火）15時～16時 ※説明会の詳細・お申込みは、 <a href="#">こちらのサントリー“君は未知数”基金Webページ</a> をご参照ください。
公募締切	2026年3月5日（木）正午
一次選考（書類選考）	2026年4月
一次選考の結果通知	2026年4月末（予定）
二次選考（面談選考）	2026年5月20日（水）または28日（木）のいずれかで調整中。  ・原則オフライン（対面）で都内での実施を予定していますが、オンラインでの対応も可能です。  ・プレゼンテーションと質疑応答を行います。  ※採択に際して、事業計画や予算を含む申請内容に関する協議が必要な場合は、別途面談の機会を設け、個別に調整いたします。
二次選考の結果通知	2026年6月（予定）

※選考結果は、採択の可否に関わらず、全申請者にメールでお知らせします。

※選考の経緯や採択の決定理由のお問い合わせには応じかねます。ご了承ください。

## 5. 申請について

### 5.1. 申請の手順

申請書類を「サントリー “君は未知数” 基金 申請システム」からご提出ください。

サントリー “君は未知数” 基金 申請システム

URL : <https://suntory.yoshida-p.net/> [↗]

※「サントリー “君は未知数” 基金 申請システム」の利用方法はこちら [↗] からダウンロードしてください。

#### 【申請書類を提出するまでの流れ】



#### ●STEP 01 / マイページ取得

「サントリー “君は未知数” 基金申請システム」（以下申請システム）に登録し、マイページを取得してください。

※過去の「サントリー “君は未知数” 基金」公募時にマイページを取得した団体は、【STEP01】は不要です。

#### ●STEP 02 / 申請書類の作成

以下「5.2 申請書類」の項に記載の申請書類 7 種をご作成ください。

#### ●STEP 03 / 提出

申請書類を申請システムに入力し、「提出」ボタンをクリックしてご提出ください。

※提出後の修正は出来ません。ご注意ください。提出するまでは、申請期間内であれば何度でも上書き保存が可能です。

※申請内容に不備がある場合や必要な情報が期日までに提出されない場合は申請を無効とします。  
※ご提出いただいた申請書類は返却しません。ご了承ください。

## 5.2. 申請書類

以下の7種の申請書類をご作成ください。

申請書類の作成にあたっては、選考基準を踏まえた説明が含まれるようにしてください。

1. 申請内容
2. 申請用紙
3. 予算計画書
4. 役員名簿
5. 定款
6. 団体の直近年度の財務報告書
7. 団体の今年度の収支予算書

### 【各申請書類の詳細】

申請書類	作成方法・申請システムへの入力方法
1. 申請内容  「申請内容」に記入する項目の一覧をご用意しました。下書きにご利用ください。  <a href="#">サントリー君は未知数基金_2026_申請内容の項目一覧 (Excel) ↓</a>	申請システム上の入力欄へ直接記入
2. 申請用紙  フォーマットのダウンロード：  <a href="#">サントリー君は未知数基金_2026_申請用紙 (Word) ↓</a>  <ul style="list-style-type: none"><li>・5～7ページに収めるようにしてください。記入欄の大きさは適宜調整してください。</li><li>・選考基準を踏まえた説明が含まれるようにしてください。</li><li>・事業や活動のイメージが伝わるように図表や写真を適宜挿入していただいて結構です。</li><li>・「1. 申請内容」にもある項目は、記載内容を揃えてください。</li></ul>	所定のフォーマットに記入し PDF 形式でアップロード
3. 予算計画書  フォーマットのダウンロード：  <a href="#">サントリー君は未知数基金_2026_予算計画書 (Excel) ↓</a>	

申請書類		作成方法・申請システムへの入力方法
4. 役員名簿	<p>※フォーマット自由。役名・氏名・住所の記載、 また代表者に関しては兼務先を記載してください。</p> <p>フォーマットが必要な場合は、以下のフォーマット に記入してご提出ください。</p> <p><a href="#">サントリー君は未知数基金_2026_役員名簿 (Word) ↓</a></p>	フォーマットの指定なし。PDF 形式でアップロード
5. 定款		
6. 団体の直近年度 の財務報告書		
7. 団体の今年度の 収支予算書		

※ファイル名について：PDF 形式でアップロードするファイル名は、それぞれ「団体名\_書類名」としてください。

例) 特定非営利活動法人工ティック\_申請用紙.pdf

※既定の申請書類以外は選考の対象外となります。

## 6. お問い合わせ先

### ●公募内容に関するお問い合わせ

○特定非営利活動法人工ティック サントリー“君は未知数”基金事務局

○メールアドレス：[kimi\\_wa\\_michisu\\_fund@etic.or.jp](mailto:kimi_wa_michisu_fund@etic.or.jp)

※ご返答は3営業日以内にいたします。

### ●申請システムに関するお問い合わせ

○ワイピービズイングループ株式会社 サントリー“君は未知数”基金 WEB 操作お問い合わせ窓口

○メールアドレス：[suntory@yoshida-p.co.jp](mailto:suntory@yoshida-p.co.jp)

※ワイピービズイングループ株式会社が提供する申請システムを利用しています。

## 7. 個人情報の取り扱いについて

本公募に際し提供いただいた個人情報は、以下のとおり共同して利用させていただきます。

### ●共同利用する個人情報の項目

- 本基金への申請において提供いただいた次の個人情報
- 団体名
  - 代表者姓名
  - 申請事業担当者姓名
  - 申請事業担当者のメールアドレス
  - 申請事業担当者の緊急連絡先（電話番号）

### ●共同利用する者の範囲

- 特定非営利活動法人工ティック
- サントリーホールディングス株式会社

### ●共同して利用する者の利用目的

- 申請に対する選考および選考結果の通知
- 助成決定後の諸手続きの連絡
- 助成者決定の公表
- 本基金における助成事業の管理業務
- 本基金からのご案内（採択結果に関わらずご希望の方には本基金の事務局から、「サントリー“君は未知数”基金」の今後の公募情報や、団体の組織強化に関連したプログラム・イベントを随時メール等にてご案内させていただきます）

### ●共同して利用する個人情報の管理に責任を有する者

特定非営利活動法人工ティック  
理事 小泉 愛子  
東京都渋谷区東1丁目1番36号 キタビルデンス402

版数	発行日	改定内容
初版	2026年1月20日	初版発行